

# 少子化対策について

## 重要な施策と考える



安藤 廣美議員

### 重要な施策と 考えている

り組む必要があると思う  
が。

住促進、雇用の促進をは  
かりながら子育てしやす  
い環境のまちづくりに鋭  
意努力していきたいと考  
えている。

### 町長

### 積極的に取組んで いただきたい

### 安藤議員

少子化対策については、  
政府はもとより各都道府  
県においても、また、市  
町村においても、積極的  
に取り組んでいるところ  
であるが、わが国の出生  
者数は1974年以降一  
貫して減少し、2003  
年には112万人となっ  
ており、このまま行くと  
2050年には67万人に  
なると言われている。ま  
た、一人の女性が生涯に  
出産する子供の数は20  
03年には1・29人まで  
低下し、現在の人口を維  
持するためには2・08人  
を必要と言われている。  
このような状況のなか大  
崎町としても積極的に取

この少子化対策につい  
ては、国ではもちろんの  
ことではあります。本  
町においても重要な施策  
の一つと考えており、国  
の少子化対策を踏まえな  
がら、平成16年度から年  
次的に町立保育所の民営  
化を実施し、保護者の多  
様な保育ニーズに対応で  
きる保育体制づくりと併  
せて、乳幼児を持つお母  
さん方と子のスキンシッ  
プをはかることを目的に  
平成17年度から保健セン  
ターで「はつする広場」  
を実施している。また、  
次代を担う若い世代の定

近隣1市5町の出生者  
数と死亡者数の調査表で  
は、鹿屋市の人口8万1  
千名に対し死亡者数より  
出生者数の方が毎年20  
0名以上多く、その中で  
死亡者数の多いのが輝北  
町であり、二番目に多い  
のが大崎町である。  
このような調査のデー  
タから見ても少子化対策  
については、何らかの形  
で早急に取組んでいかな  
ければならない。  
案として、予算計上も

単位：人

年度	旧鹿屋市		旧吾平町		旧輝北町		旧串良町		旧高山町		大崎町	
	出生者	死亡者	出生者	死亡者	出生者	死亡者	出生者	死亡者	出生者	死亡者	出生者	死亡者
14	949	659	64	82	19	69	112	128	101	177	90	204
15	885	631	67	105	31	56	105	145	92	175	105	201
16	914	691	56	91	24	69	99	154	92	192	107	193
人口	81,081		7,353		4,412		13,412		14,524		16,133	

※ 人口：平成16年4月1日現在（住民基本台帳）

行い、結婚を前提とした  
少子化対策推進委員会  
（仮称）を設立し、少子  
化対策に取組む気持はな  
いか。

### なかなか難しい

### 町長

国内の統計においても  
一体的に少子化への傾向  
があるといえる。子供た  
ちの人口が増えることは、  
将来への活力に向けた取  
組みが出来る事であり、  
望ましい姿であると考え  
るが、本町での少子化対  
策の取組みの一環として  
の対策室の設置は現時点  
では難しい。

### 行政で 出来ることはないか

### 安藤議員

結婚の仲立ちをする地  
域の世話役、若い男女の  
交流の場の提供など行政  
で出来ることは積極的に  
取組んでいただきたい。

### 民間での 積極的な取り組みを

### 町長

必要性は感じているが、  
行政という立場でなくJ  
A、商工会など民間で積  
極的に取組んでいただく  
方法を講じることが出来  
るのではないかと考える。  
少子化の及ぼす影響は、  
多様なものがあり、集落  
の機能、伝統の崩壊、し  
いては地域社会の崩壊に  
もつながり、産業の振興  
にも影響が考えられる。  
今後どうあるべきかは  
考える必要がある。